私の口が悪い理由

さて、Life Chopsの動画の多くは、挑発的であったりトゲトゲしような言い回しや言葉遣いでメッセージが発信されていますが、どうして、こうも口悪く情報をお届けしているのでしょうか？

もちろん、私自身のシニカル（皮肉的）でサディスティック（残酷な事を好む）性格もその公式の一部ではありますが、汚い言葉は人の注意を引き、今すぐ動くべきと言うような緊急性を伝え、そのショックが幻想の世界を切り裂き、現実に対して目を向けて集中するように促す、役割を担っていると言っても過言では無いでしょう。

そして、私が提供しているような本を読め、勉強しろ、こう考えろと言うような自己啓発系やあなた自身が変わる事を推奨する動画では、汚く胸に刺さるような言葉があなたの意識を変える一種の電気ショックのような務めであると思っています。

高校時代にアメフトをやっていた時の監督はアメフト映画に出てくるような鬼監督であり、練習の時には罵声が常に飛び交っていました。何故、罵声が飛び交っていたのか？それは、アメフトと言う危険なスポーツの文脈に相応しいのが、汚い言葉だからです。その罵声により、常に緊張感と緊迫感の溢れる練習が生まれ、気を抜いてケガをする可能性が低くなるからです。

Life Chopsの動画を見て、変わらないと意味が無い。行動しないと意味が無い。だからこそ、その変化を助長するように、私は敢えて口悪く耳障りな言葉を連発しているのです。

ですから、上品に話したり、優しい言葉を発する事だけが、正しいと言う事では決して無く、TPOに応じて言葉遣いを変える事が大事な時もあるでしょう。